

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（2月定例会）会議録
開催日時	平成22年2月19日（金曜日）14時00分から16時00分まで
開催場所	保谷庁舎3階第2会議室
出席者	委員：小川議長、濱崎副議長、岡村委員、齋藤委員、白木委員、須永委員、松嶋委員、宮崎委員（五十音順） （欠席）倉島委員、高谷委員、本田委員、本領委員、山田委員 事務局：下田社会教育係長、神田主査
議題	(1) 平成21年度社会教育関係団体補助金について (2) 今期の活動計画について (3) 報告、その他
配布資料	1 平成21年度社会教育関係団体補助金交付確定額（案） 平成21年度社会教育関係団体補助金交付確定額 計算書 社会教育関係団体補助金対象事業評価シート（報告書審査） 団体実績報告書類（実績報告書・事業費精算額明細書） ・西東京市図書館だより 第36号 ・社会教育指導者研修会「地域教育フォーラム2010」資料集
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

平成22年1月定例会議の会議録を確認後、承認する。

(1) 平成21年度社会教育関係団体補助金について

事務局より、配布資料1「平成21年度社会教育関係団体補助金の確定額関係資料」に基づいて、2団体（西東京ジュニアオーケストラ・保谷女性合唱団）の補助金額の確定について説明。その他資料として、2団体から提出された報告書一式について回覧。

主な意見等

○委員：

西東京ジュニアオーケストラの会員23名は、子どもなのか。

○事務局：

そうです。演奏会では、会員だけでは足りないパートもあり、奏者を依頼して実施している。

○委員：

評価シートで未記入の評価項目がある。団体の活動意欲喚起や事業内容の向上のためにもできるだけコメントをしていった方が良いと思う。

○事務局：

評価項目のコメント欄については、特筆すべき事項がある場合に記入している。社会教育委員の方も気づいた点があれば出して欲しい。

○委員：

評価シート等はどこで公表されるのか。

○事務局：

社会教育委員の会議で出された意見や事業への評価については、ヒアリング時などに団体へ伝えている。補助金に関する公表については、社会教育関係団体補助金だけではなく、全庁の補助金についての情報公開がされており、交付団体の状況や内容等を見る事ができる。

○委員：

2団体ともチケットの売り上げが少ないように思う。チケット代を安くしてできるだけ多く買ってもらえるようにしたらどうか。

○委員：

観客のほとんどが無料で入場しているとしたら、無料コンサートにしても良いのではないか。

○事務局：

補助金制度の中では、団体主催の事業内容については、干渉ができない部分もある。

- 委員：  
申請団体が増えてくると良いと思う。
- 事務局：  
できるだけ多くの団体に申請してもらえよう要綱では原則として同一事業は通算3回までしか申請できないことになっている。
- 委員：  
補助金交付が特定団体の既得権になり、新しい団体が申請できないという自治体もある。
- 委員：  
説明会に多くの団体に来てもらうことが必要だろう。
- 委員：  
公金なので、一定程度の書類の整えは必要だろう。事務局には、団体の申請書類作成の負担感が軽減するよう、書類等の書き方等について支援をしていって欲しいと思う。
- 事務局：  
わかりました。
- 議長：  
平成21年度社会教育関係団体補助金確定額について、了承してよろしいか。
- 全委員：  
了承する。
- (2) 今期の活動計画について
- 事務局：  
今期の活動テーマについては、次年度開催を担当する社連協第4ブロック研修会のテーマと合わせた内容を考えていくということではよろしいか。次回会議でテーマを決定したい。
- 全委員：  
異議なし。
- (3) 報告、その他
1. 須永委員より社会教育指導者研修会「地域教育フォーラム2010」資料集に沿って研修会の報告
- ・日時 1月30日（土曜日）午後1時15分～5時
  - ・場所 東京都教職員研修センター視聴覚ホール
  - ・内容 教育支援プログラムの事例紹介

パネルディスカッション「地域教育が切り拓く子供たちの未来」

・参加者 小川委員、濱崎委員、倉島委員、齋藤委員、須永委員

○委員：

早い時期から子どもに仕事観を身につけさせる必要があるという課題意識から、企業と連携協力したキャリア教育の実践が報告された。教育支援施策として企業による教育活動がクローズアップされると、企業にとって都合の良い子育てや教育が行われる事にならないだろうか。

○委員：

企業が教育支援に取り組む動機としては、イメージアップということがあると思うが、体力のある企業でないとなかなか取り組む事ができないようだ。

○委員：

市内中学校でも、職場体験を熱心に行っている。

○委員：

大学でもキャリア教育が位置づけられる事になった。職業人としての心構えとして、あいさつや電話の応対などの指導をおこなっている。こういった事は、大学生からでは遅い。家庭での教育力の低下もあるが、小さい頃から身につけさせていくものだろう。

2. 平成22年度の定例会議日の確認

○事務局：

21年度同様、第三金曜日の午後2時からの開催予定で良いか。

○全委員：

異議なし。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（2月定例会）は終了する。

※次回会議 平成22年3月19日（金曜日）午後2時から